

■ TOPICS

1. ごあいさつ
2. 11月にオータムスクール2020in羽島を実施しました
3. 11月30日（月）学生企画フューチャーセンターを実施しました
4. 12月12日（土）公開講座を開催しました
5. 行事案内

1. ごあいさつ

あけましておめでとうございます。今年はWithコロナのお正月となりましたが、皆様はどのように過ごされましたでしょうか？実家に帰らなかった、寝正月だった方もたくさんいらっしゃると思います。

地域協学センターでは感染対策や、オンライン開催など、工夫をしながら活動を進めていくことができました。しばらくこのような状況が続くようですが、新しい形で例年通りの活動が出来ればと考えています。

今回は11月、12月の活動を紹介していきます。（田崎）

2. 11月にオータムスクール2020in羽島を開催しました

オータムスクール2020in羽島とは

岐阜大学は、中部学院大学・中部大学・日本福祉大学・名古屋学院大学と「COC+事業推進コンソーシアム」という連携体制を作っています。その取り組みの一環で、5大学すべての学生が参加できる「参加大学共通プログラム」を実施しています。

例年は、2泊3日の合宿形式でサマースクールを実施していましたが、今年度はCOVID-19の影響があったので、11/14, 15, 21の3日間のオンラインプログラムとして、秋に開催することになりました。羽島市を対象にAとBの2コースに分かれ、課題解決に向けた提案を作成しました。



☞デザイン畳の見学。畳は見る角度で色が変わる！（Bコース）



☞どの布が高価か相談中。PC越しにもう一人メンバーがいる（Aコース）



☞昼食は羽島グルメ！れんこん料理・なますバーガー・みそぎパン

実施内容

Aコースのテーマは繊維産業の魅力発信。羽島市は昔から愛知県一宮市と合わせて「尾州産地」と言われる繊維産地でした。現在も毛織物に関しては全国シェア80%以上。繊維産業の歴史と現在を学び、提案を作成しました。

Bコースのテーマはまちづくり。中心市街地の竹鼻地区には、小さなスポットはいくつもあるのですが大きな目玉がありません。どうすればにぎわいを創り出せるのか、見所巡り、羽島グルメを堪能して魅力発信方法を考えました。

最終的に参加したのは岐阜大学生6人を含む5大学15人の学生です。オンラインで打ち合わせをしながら、それぞれ独自の提案を発表することができました。（塚本）

【最終提案内容】

- A1:技術の素晴らしさを伝えよう
- A2:後継者集めのための魅力発信
- B1:羽島魅力発信コンテスト
- B2:見とこ行っとこ羽島

3. 11月30日（月） 学生企画フューチャーセンターを実施しました

全学共通教育科目「フューチャーセンター入門」の受講生が「昼休みの有意義な過ごし方」「理想の自分」をテーマに、学内生徒対象としたフューチャーセンター（※）を実施しました。

私が見学した「理想の自分」のグループは、「1日なれるなら誰になりたい？」から始まり、最後に理想の自分像がイメージ出来るよう企画されていました。「好きなことに没頭出来る人」「心に余裕のある人」「稼げる人」など、お互いが理想の姿を話し合う中で、「それいいね！」など自分の考えが広がる場面も多かったです。

👉話し合った昼休みの理想的な過ごし方について発表



👉集まってくれた学生の前で趣旨説明

どちらの企画も、参加者の今後の大学生活を有意義にするきっかけになったのではないかと思います。（田中）

※フューチャーセンターとは
多様な人が同様の立場で参加する「対話の場」

4. 12月12日（土） 公開講座を開催しました

「地（知）の拠点×SDGs 地域課題解決に向けた大学の挑戦」という題目でオンライン公開講座を行いました。講演者の岩淵先生（岡山大学）、林様（リコージャパン岐阜支社長）、パネリストの西澤先生（名古屋大学）はそれぞれの所在地からご参加いただき、新しい形での開催となりました。

岩淵先生からは、岡山大学で行われている留学生や学生と地域との交流に基づいた、ローカルからグローバルへの発展・交流地域の活性化・活動の中で生まれた地域と学生の絆について、林支社長からはリコージャパン岐阜支社の行う働き方改革・環境負荷の低い社屋・それを通じたSDGsへのつながり・社員のモチベーションアップについてご講演いただきました。

総合討論では学生も参加してパネルディスカッションを行いました。SDGsに対してどのように取り組むのかというところが最終論点となり、「SDGsに対して取り組むというより、普段の活動をSDGsに落とし込む」というところで討論が終わりました。



👉総合討論の会場の様子

何か新しく取り組むのではなく、普段の行動からSDGsを意識してみる。そのように行動する人が増えていくことがSDGsの達成につながるのではないかと思います。

長い時間だと思っていた公開講座でしたが、皆様のお話がとても興味深く、あっという間に終わってしまいました。最近、SDGsという言葉は本当に色んな所で見ることが出来ます。ただ、SDGsだと思うのではなく、岩淵先生がおっしゃっていた「自分事」にする、そうやって意識していく必要があると考えます。（田崎）



👉集合写真は画面のスクリーンショット📸

5. 行事案内

- 1月15日（金）ぎふフューチャーセンター（海津市との共催）
- 2月12日（金）上級段階科目合同成果発表会



CCSC 地域協学センター
Center for Collaborative Study with Community
国立大学法人東海国立大学機構 岐阜大学

ご意見・ご感想、お待ちしております！！

【連絡先】 ■ TEL:058-293-3880 ■ mail: ccsc@gifu-u.ac.jp

■ URL: <http://www.ccsc.gifu-u.ac.jp/>